## 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書 平成 28 年分

所轄税務署長等		<b>公</b>	支払者					(フリガラ	<del>-</del> )			,,,,		生年月	日明:大昭:平	年 月	日配有	$\bigcap$
		和子の名称						名	(1)			世帯主の氏名			偶者	従たる給与につ いての扶養控除		
		終ちの	支払者 ※この申	告書の提出を受けた給	与の支払者が記載	<b>ル</b> してください	· , ,										一一の無	等申告書の提出 /提出している場合 \
税務署長		II	固人)番号			7	į II d	あなたの個人	番号			1	7	あなたとの紛	柄		有	には、〇印を付け てください。
		給与の支払者						あなたの住所 (郵便番号 - )								•		
	市区町村長	の所在は		又は居所														
あなたに控除対象配偶者や扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生のいずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。																		
	区 分 等	氏		支 び	あなたとの		月日	老人控除対象配側 又は老人扶養親		特定扶養親族	住	所 又	は	居 所		28 年 中 の 見 積 額	異動月	日及び事由中に異動があっく
		個	人	番 号	続 柄			)				//I ^	10	/11 //1	非居住者 である親族	生計を一にする 事実	た場合にさい(以	記載してくだ
	A 控除対象 配 偶 者					明・大										円		
						昭・平												下同じ。)。 /
主た	控除対象 B扶養親族 (16歳以上)	1				田 . 士		同屋		/								
						明・大昭・平		同 居· 老親等·	その他									
		2				PET 1												
る給		, ,		1 , , ,		明·大 昭·平		同居.老親等	その他									
主たる給与から控除を受け		3																
		3		1	_	明·大 昭·平		同居・その										
を受		4				明·大 昭·平		同居.老親等	その他									
ける								32496 (										
જ		5				明·大昭·平		同居・その老親等・その										
						J***	1	2 税 寸	•									
	障害者、寡婦、寡夫又は勤労学生  「	1 障害者	該当者 区分	本人整配	除対象 偶者	<b>夫養親族</b>	2 寡	婦		左記の	内容(	この欄の記	載に当たっ ご注意   0	っては、裏面の(8)をお	の「2 記載 読みください。		異動月	日及び事由
			一般の障害者			( 人)	3 特別(	の寡婦一							767 (72 2 1	<u>'</u>		
			特別障害者			( 人)	4 寡	夫										
			同居特別障害者			( 人)	5 勤 労	学生										日及び事由
		氏	名	あなたとの日	三年月日	.	· /:	所 又	1+	居所			控 除		他の所得		里  日	日及び事由
D	他の所得者が	14	- 11	続 柄 年	+		Д.	<i>n</i> ı	14	/白 /71		氏	名	きなた続柄	住所り	スは 居 所	共到万	□ 及 □ 爭 田
D 控除を受ける 扶 養 親 族 等				昭・平														
_				昭・														
○住民税に関する事項 																		
(住民税に 関する事項) <b>16歳未満の</b> <b>扶養親族</b>		氏	名	個	人	番	号	あなたとの 続 柄		1月日	住	所 又	は厚	計 所	控除対象外国外扶養親族	平成28年中の 所得の見積額		日及び事由
		1			4											円		
		2			***************************************		-		平									
		3					7		平									$\neg$

○この申告書の記載に当たっては、裏面の「お告こついてのご主意」等をお売なくどさい。○この申告書及び裏面の「申告についてのご注意」等は、平成27年9月1日現在の所得税法等関係法令の規定に基づいて作○この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。○この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。○この申告書は、控除対象配偶者や扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。○この申告書は、あなたの給与について配偶者控除や扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。

<sup>◎ 「16</sup>歳未満の扶養親族」欄は、地方税法第45条の3の2第1項及び第2項並びに第317条の3の2第1項及び第2項に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出しなければならないとされている 給与所得者の扶養親族申告書の記載欄を兼ねています。